

【おくざわ高広のプロフィール】

- ・1982年 栃木県佐野市にて高校教師の両親の次男として生まれる。
- ・栃木県立佐野高校を卒業し、奨学金を借りて、慶應義塾大学法学部政治学科を卒業する。学生時代は、体育会野球部に所属。4年次にはヘッドコーチとして全国大会準優勝。
- ・大学卒業後は、三菱地所(株)での不動産開発、学習塾での不登校児童支援に携わる。教え子の自殺未遂をきっかけに「誰もが生まれてきてよかったと思える社会」を目指し、政治の世界へ。衆議院議員公設秘書を経て、東京都議会議員を一期務める。
- ・都議会では、会派「無所属 東京みらい」幹事長や都市整備委員会副委員長などを歴任。新型コロナ流行時の協力金制度やフリースクールへの補助金制度、教員志望者への奨学金返還支援制度などを独自に提案し、実現に貢献する。
- ・2022年町田市市長選挙に立候補し、31,011名に投票いただくも現職に敗れる。
- ・現在は、障がい福祉施設の代表として、障がい者のQOL(生活の質)向上、高齢者向けの買い物支援サービス、農福連携による特産品開発などを行う。そのほか、マチダブル2022(町田ダブル成人式)、ウォームブルーまちだ(自閉症啓発キャンペーン)、町田JOBカフェ(学生と経営者の交流イベント)など、積極的に地域活動に取り組む。
- ・町田JCシニアクラブ、町田商工会議所青年部、町田法人会青年部会、東京町田ロータリークラブ、保護司会町田分区などに所属。
- ・著書に「町田独立宣言-安心と挑戦と成長の好循環で、日本をリードする都市へ-」
- ・政治信条は「FREE, FAIR, FLAT-自由に、公正に、まっすぐに」
- ・趣味はマンガを読むこと。好きなものは寿司とスイーツ、クラフトビールとラム酒。休日は、ジーパン姿で妻と一緒にFC町田ゼルビア、ASVペスカドーラ町田の応援に出没する。

【おくざわ高広の目指す未来像】

職住遊憩ぜんぶある。だから、一人ひとりの夢や幸せが実現できる。

“43万とおりの幸せがかなう翔都MACHIDA”

発行元：チーム町田みらい
連絡先：team.machida.mirai@gmail.com



元・東京都議会議員(町田市選出)
町田市市長選挙2022惜敗

無所属で
再出発

おくざわ 高広



《今年の町田は選挙イヤー》

1年に4回も選挙！？

投票する際のポイントは？町田市の課題は？

今年の町田は選挙イヤー、6月の東京都議会議員選挙、7月の参議院議員選挙、年が明けて2月の市長選挙、市議会議員選挙と続き、1年間に4回も投票する機会があります。まずは、それぞれの選挙の“ちがい”をみていきましょう！

東京都議会	参議院	町田市議会	町田市市長
今年 6/22	今年 7月	来年 2月	来年 2月
町田で4名	東京で6名 +1名(補欠選)	36名	1名
・都議127名の中で町田市を代表して都の予算約9兆円のチェックや条例提案 ・知事と対峙	・参議院議員248名の中で東京都を代表して、国の予算約115兆円や法案を審議 ・総理を指名	・市民の代弁者、地域の代表として市の予算約2千億円のチェックや条例提案 ・市長と対峙	・43万人の町田市民のリーダー、市役所の長として、約2千億円の予算の使い道や条例を提案

※それぞれの予算はR7一般会計予算額

「選挙」と一言と言っても、選ばれる人の役割も違えば、選ぶ側の基準も変わってくるはず。国政や都政では政党色が強くなり、市政では個人の能力や人柄が色濃くなるというのも特徴的です。しかし、一番大切なことは、自分の納得できる一票を投じること。選挙をきっかけに、町田の未来や国の課題を調べてみたり、友人や家族と話したりすることになれば、少しずつ未来を変えていくことにつながります。

《AIに聞いた町田市政の3大テーマ》

一人一人の投票が、国や東京都、町田市の向かう方向性を決めることになるので、町田市政のどのようなテーマに関心が集まっているのか知ることは重要なことです。そこで、ChatGPTをつかって、町田市政の3大テーマについて聞いてみました。

1. 財政の持続可能性と市政の優先順位

【AIによる分析】町田市の令和7年度予算では、**財政調整基金（市の貯金のようなもの）から、約50億円を取り崩す**など、財政面の健全性が大きな課題となっている。

【今後の予測】高齢化が進むことによる**社会保障や医療への支出増加**、公共施設や道路、上下水道間などのインフラ老朽化による**メンテナンス費用増加**は免れない。一方で、少子化が進み働く世代が減ることで、町田市の**市税収入の約半分を占める市民税の減少が予測**される。

【おくちゃんの意見】これまで人口増加の一途であった町田市も**2023年から人口減少**が始まりました。人の高齢化と施設の老朽化が進む中で、支出が増えて、収入が減るのは避けられません。市政の優先順位、つまり「**何にどれだけのお金をかけるか**」が問われる局面であり、「**稼ぐための投資**」と「**デジタルも活用した無駄の削減**」をバランスよくかじ取りすることが重要です。アンケートを用意しましたので、どのような分野にお金を使ってほしいのか、皆さんの声を聞かせてください！



2. 町田駅前再開発と多摩都市モノレールの延伸

【AIによる分析】町田では、長年延伸を求めてきた**多摩都市モノレールの町田駅への延伸計画**と、それに合わせたタイミングでの**町田駅周辺の大規模な再開発計画**が浮上。一方で、10年以上前から検討してきた**芹が谷公園内の「国際工芸美術館」の建設計画**について、**建設予定者が辞退**するなど、思うような街づくりが進んでいない状況。そのような中、町田市は、リーディングプロジェクトとして、**都営森野住宅土地における2,000人規模の音楽・演劇ホール計画**を発表。

【おくちゃんの意見】町田駅前の再開発は、**町田市にとって千載一遇のチャンス！**だからこそ、**芹が谷公園「国際工芸美術館」計画は一旦立ち止まり、町田駅前再開発の全体像の中で、計画を練り直すべきだ**と考えます。私は、都営森野住宅において、**町田の顔となり、市民が誇れる「駅前スタジアム構想」を具体的に検討**しています。例えば美術館一体型のスタジアムとすれば、建設コストを抑え、来街者の層を広げ、地域経済に好影響をもたらし、ひいては町田市の**税収増加へとつながります**。人口減少が予想される町田市が将来にわたって**繁栄するためには、市外から人とお金を呼び込み、市内で循環する仕組みが不可欠**です。町田の未来のために、官民が力を合わせるときは今です！

3. 少子化と学校統廃合

【AIによる分析】町田市では、少子化と学校施設の老朽化により、既存施設の維持が困難と判断し、**2040年度までに市立小学校を42校から26校市立中学校を20校から15校に統廃合**する計画が進行中。

【メリット】統合による教育資源（教員配置やICT機器の効率化など）の集中、施設維持コスト削減による財源の他分野への再配分が可能。

【デメリット】通学距離が長くなることによる子どもや保護者の負担増、地域の学校がなくなることによるコミュニティの希薄化などの懸念。

【おくちゃんの意見】前回の市長選挙では「**統廃合反対派**」として立候補しましたが、計画の進みだした今、**いかにして子どもや保護者の負担を減らすかが最重要課題**です。加えて、町田市では年々不登校児童・生徒が増えており、子ども一人ひとりに最適な教育環境をつくるのが重要です。そこで、学校統廃合にあわせて、**国際バカロレアなどの最新教育や町田の魅力を活かした自然探求教育など、多様な学びを子ども自身が選ぶことのできる公教育をつくりあげていきたい**と考えています。さらに、学校跡地には、医療・介護、福祉などのヘルスケア拠点を誘致し、**健康長寿社会をリードすることが地域の活力を高めることにつながります**。学校統廃合を契機に全世代が安心して暮らせる街づくりへと舵を切っていくべきです！



《皆さんの声をお聞かせください！》

3大テーマはいかがでしたか？ その通り！と思うこともあれば、大切なのはそこじゃない！という意見もありますよね。おくざわ高広の政治の原点は「**町田市民43万通りの幸せがかなう街づくり**」です。是非、右のQRコードからおくざわ高広に「**43万人の声**」を届けてください！

